

ざんげ

永平寺町議会だより



第72号

INDEX

令和5年1月2日発行

特集 交流人口拡大に向けて P2~5

そこのが聞きたい!

議員13人が一般質問 P9~13

議会はどのほ
ちからか
を閲覧いただけます



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

九頭竜川 (永平寺町)

伝説が生きている青き川、北陸屈指の大河川である九頭竜川にスポットライトを当てる!!



インタビュー! interview!!

九頭竜川かわとまち協議会
事務局長 青木 治男さん



Q ナミノバやシカノバをどのようにまちづくりに活かしていきたいか。

A 全国から多くの方が訪れるようになれば、交流人口が増え、町の賑わいに繋がると思い日々活動しています。

Q インバウンドへの取り組みは。

A 永平寺町ならではの体験コンテンツと組み合わせた観光コンテンツ造成支援事業にも取り組んでいます。

議会の視点



永平寺町に少しでも長く滞在してもらえるような「ここにしかない」コンテンツを、地元住民や団体、近隣市町と連携してどれだけ創出できるか。インターネットやSNSを駆使した俗に言う「バズる」仕掛けも必要。

目指すはメダリスト 九頭竜川 かわまちづくり事業

九頭竜川かわとまち協議会とは?

令和元年に国・県・町、市民団体からなる準備会を組織し、令和2年4月に正式に発足。世界にここだけしかないカヤックやカヌーができる拠点(パドリング・ヴィレッジ)を九頭竜川に整備し、水辺の賑わい作りを目指している。

主な事業内容

パドリング・ヴィレッジとして、フリースタイルカヤックの国際大会の開催も可能であるナミノバ(中島)、カヤック体験や初心者練習に適したシカノバ(東古市)を整備。フリースタイルカヤックの国際大会の誘致、メダリスト育成をテーマにしたスポーツ教育のソフトウェアを作成する。



パドリング・ヴィレッジ

Q 課題は。

A 地域の方々との関わりがまだまだ少ないので、情報発信を継続して行っていく必要があります。

Q 青木さんが所属するドラゴンリバー交流会とは。



ドラゴンリバー交流会

役場担当者の声

ナミノバ、シカノバについてのお問い合わせをお待ちしています。



建設課 山岡さん

北陸の雄、九頭竜川 アユ、サクラマス、の聖地

インタビュー! interview!!

九頭竜川中部漁業協同組合
組合長 中川 邦宏さん
(令和3年から現職)



Q 最近の遊漁動向?

A 人との距離をとれる釣りはブームとなり、鮎についてはコロナの影響はほとんど見られなかった。年間遊漁証の売り上げも維持しており、コアなファンの数も維持している。サクラマスについては令和2年以降遊漁証の売り上げは減少しており、これから回復を目指したい。

Q 県外からくる客はどこから来ているか?

A 関西方面が多いが、関東方面は希薄である。関東の鮎釣り客は富山県の神通川で止まってしまうようだ。

Q 最近の取り組み?

A サクラマスを出荷サイズまで育てる取り組みを行っている。海でも海面の組合で取り組んでいるが、味が大きく違ってくる。今年約1000尾を出荷、販売したが今後も広がってほしい。町からも育成場の運営経費について補助をいただいている。また、アユ釣りについてはレディース大会や子供向け釣り教室を実施している。



九頭竜川中部漁業協同組合

Q 今後取り組みたいこと?

A 交流人口増を図ることを目的として、釣りのほか家族でも楽しめるように釣り案内図に飲食店の情報を取り込んでいきたい。また、新幹線開業に合わせて、北関東に向けた宣伝を行ってほしい。

Q 改めて意気込みなど、町民に向けたメッセージ

A 昔からの食文化があるので、葉っぱ寿司の普及など食にこだわってほしい。

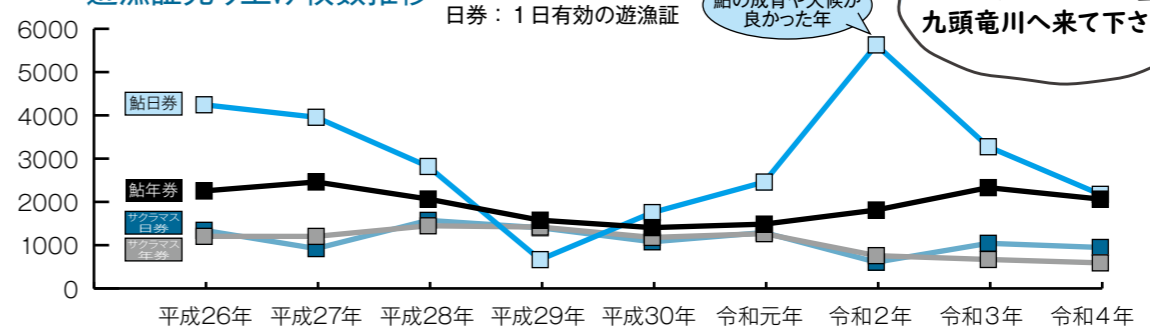
役場担当者の声

アユ・サクラマスの聖地 九頭竜川へ来て下さい。

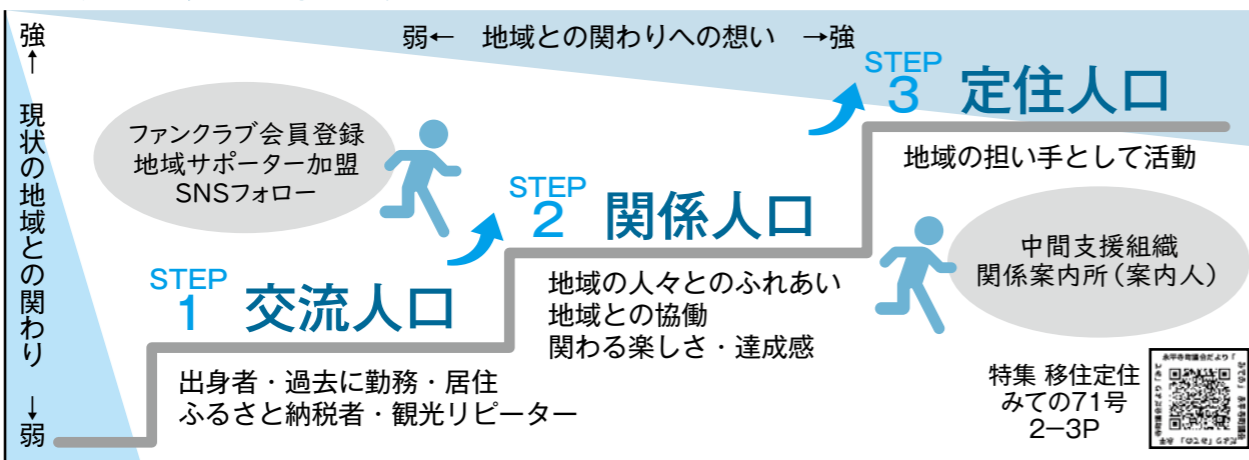


農林課 齋藤さん

遊漁証売り上げ枚数推移



ステップアップイメージ



議員全員に問う! 交流人口拡大の鍵は?

<p>酒井圭治議員 愛着のあるまちづくり 豊かな自然の中で、来たくなる、住みたくくなるような、学びあえる地域コミュニティのあるまちづくり。</p>	<p>川崎直文議員 地域資源を活かす 地域資源を活かした滞在型観光を形成し、地域ブランドとして持続的に事業を展開。</p>
<p>長岡千恵子議員 体験アラカルの周知を 大本山永平寺だけでなく、老若男女が楽しめる種々の体験を知ってもらう事。</p>	<p>朝井征一郎議員 地域の住民の交流 住民が笑顔で交流し、住み良い町作りに集中し魅力ある地域、子育て支援の町</p>
<p>清水紀人議員 町資源と繋ぐ 町民や町関係者の活動や取組みへの応援と他市町との繋がり支援。</p>	<p>森山 充議員 選択と集中 関係人口増と交流人口増を同時に図ることは困難なので、施策の集中が必要。</p>
<p>滝波登喜男議員 あまりまどわされるな! 「交流人口」の言葉にあまり感わされる必要は無いのでは。</p>	<p>清水憲一議員 ターゲットはインバウンド アップル創業者スティーブン・ジョブ氏が愛した町として国内外向け情報を発信する。</p>
<p>田舎暮らしが都会の非日常 それを活かした企画と情報発信。そして最も重要なのが「おもてなしの心」。</p>	<p>上田 誠議員 笑顔と発信 住民の生き生きとした笑顔と生活。それを支える実践活動。その内容の発信と宣伝。</p>
<p>楠 圭介議員 住民の理解 町の取り組みを住民の皆さんにどれだけ理解して頂けるか。どれだけ一体感を作れるか。</p>	<p>松川正樹議員 一点集中 今、移住に世の中の注目が集まっている。チャンスだ。政策を移住にもっと集中し、結果を出すことをより意識する。</p>
<p>齋藤則男議員 今一度原点に戻って 地域の良さを自慢できる、誇れるものを生かし、魅力ある町づくりを推進する。</p>	<p>中村勘太郎議員 能動的な未来志向を 町民が理解できる、より良い地域を担う若人達の持続性ある取り組みを。</p>

交流人口→関係人口→定住人口へのステップアップ



何らかの目的をもって一時的にその地域を訪れる人(ビジター)のことで、定住人口に対する言葉として使われる。地方創生においては特に観光で訪れる人々を指す言葉として用いられるケースが多い。

地域外に拠点を持ちながらも、地域や地域の人と継続的に関わる第3の人口を指す。
※具体的には、以下のような人々を関係人口と呼ぶ

- ・その地域が好きで頻繁に行き来する人
- ・地域内にルーツがある人
- ・過去に住んでいた人
- ・働いていた人
- ・その地域に思い入れがあり、地域づくりに参加する人

その地域に住む人々のこと。居住者、居住人口とも言う。親の代からその地域に住んでいる人も、移住によって新たに住む人も含めて定住人口と呼ばれる。

議会の視点
関係人口の拡大は、高齢化が進む地域の労働力不足や後継者不足を解消するための鍵であると考えられており、新しい考え方が地域に入ることによって活性化にも繋がるのが期待される。

pickup事業!!

交流人口、関係人口の拡大に向け、企業版ふるさと納税を活用した事業



- 事業名
スポーツ振興によるまちづくり支援
 - 事業紹介
ハンドボール日本一を目指す福井永平寺ブルーサンダーによる全国大会などでの町PR活動、スポーツチーム応援による町民意識向上など地方創生の取り組みに対して支援を行います。
- 事業名
第二期門前再生事業
 - 事業紹介
永平寺門前の再生着手にあたり、アフターコロナ対策や北陸新幹線福井敦賀延伸開業に合わせた旧参道対岸の店舗と誘導サイン等の整備に対して支援を行います。

企業版ふるさと納税の推移	令和3年	件数	2件	金額	1,100,000円
	令和4年	件数	61件	金額	62,210,000円

令和5年度 第6回定例会報告

令和5年第6回定例会は、8月28日(月)から9月13日(水)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第6回定例会議案

報告第6号 令和4年度財政健全化判断比率等の報告について 令和4年度健全化判断指標の状況健全性は確保されている	報告	議案第48号 令和5年度土地開発事業特別会計補正予算について 195万6,000円増額 土地測量登記委託料	可決
承認第12号 損害賠償の額を定めることの特決処分の承認について 30万7,956円 事故の種別 物損事故	承認	議案第49号 令和5年度上水道事業会計補正予算について 902万円増額 配水設備改良費	可決
諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について 任期満了により、再任 森塚美智子さん(松岡下合月)	適任	議案第50号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 急速充電設備の基準、喫煙等に関する規定の改正	可決
諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について 前任者の退任に伴い、新任 平林竜一さん(法寺岡)	適任	議案第51号 令和5年度一般会計補正予算について 1億6,007万円増額 災害復旧費 1億1,203万7,000円等	可決
承認第13号 令和5年度一般会計補正予算の特決処分の承認について 50万2,000円増額 警防活動強化事業	承認	議案第52号 令和5年度上水道事業会計補正予算について 給水収益3,640万円の減額 基本料金及びメーター貸付料の4ヵ月減免	可決
承認第14号 令和5年度一般会計補正予算の特決処分の承認について 6,114万3,000円増額 災害復旧費 5,670万2,000円等	承認	議案第53号 町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について 議会運営委員会の委員の定数を8人から7人に改める	可決
議案第46号 令和5年度一般会計補正予算について 1億2,878万5,000円増額 経営環境改善事業補助金2,400万等	可決	請願第3号 志比北小学校統廃合問題再考のお願い	不採択
議案第47号 令和5年度介護保険特別会計補正予算について 8,344万8,000円増額 令和4年度分介護給付費等の精算	可決		

■議案への賛否一覧 議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(中村勘太郎)は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第46号	賛	□	賛	賛	賛	反	賛	賛	一	賛	反	反	賛
請願第3号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	一	賛	賛	賛	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等13件については全員賛成です。

令和5年度 第7回臨時会報告

令和5年第7回臨時会は、9月26日(火)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第7回臨時会議案

議案第53号 令和5年度一般会計補正予算について 1,669万2,000円増額 松岡福祉総合センター外壁等補修工事 1,579万9,000円等	可決
--	----

9月議会 再放送日程



11月8日(水)~11月14日(火)

ごろまで毎日放送

毎朝6:00~ 夜24:00~

約2時間番組

令和5年9月定例会議会のケーブルテレビでの再放送日程は、11月8日(水)から11月14日(火)頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



令和5年9月一般会計補正予算に対する主な意見(歳出補正予算計12,878万円)

新型コロナウイルス
感染症対策事業
15万円

新型コロナウイルス感染症の 予防接種により健康被害対応

問 どういった症状で、どう審査されるのか。
答 町予防接種健康被害等調査会で、請求のあった被害状況を調査する。町から県を経て国に提出し、国の審議となる。

町営駐車場施設管理事業
149万円

駐車場区画線と舗装工

問 第3駐車場のロープは除雪時に痛めているが、今後の対応は。
答 駐車場の稼働状況を見ながら除雪は対処したい。

移住定住促進事業
38万円

子育て世帯等への情報発信委託事業

問 どういった形での情報発信か。
答 コミュニティ(フクマム)冊子、新聞3万部により、町外子育て世帯へ発信する。



まちづくり推進事業
100万円

県補助金

問 90地区のうち4地区の申請では、PR不足ではないか。
答 この事業は県の補助事業。町へは7月に説明、県の申請締め切りは8月ということで、直接区長に案内文書を送付し、対応した。上志比地区3件、松岡地区1件の計4件。

令和5年9月
特別会計補正予算

観光情報発信事業
11万円

北陸プレDC出展

問 誰が出展するのか。
答 商工会、観光物産協会、SHOJIN協議会の予定で出展準備中。



新型コロナウイルス
感染症対策事業(商工費)
3,370万円

物価高騰の影響を受けた 事業者への補助金

問 県への申請は補助が付きにくいので、町としても補助ができないか。
答 県補助が合わない事業者もあり、町としては物価高騰対策としては水道代などで対処したい。

楽しいおいしい給食事業
729万円

食料品価格等の高騰補助金

問 国内水産物支援のため給食で対応できないか。
答 至急検討する。

体育施設管理諸経費
361万円

緑の村周辺道路の支障木伐採

問 どれぐらいの規模なのか。
答 現在、バス通行にも支障をきたしており、全体的な伐採となる。

母子保健事業
27万円

在宅保健師報償、備品購入

問 在宅保健師の定義は。
答 定義はなく、保健師資格を持つフリーで活躍する保健師。

地域資源活用事業
50万円

県広域ウェルネス推進協議会負担金

問 ウェルネス事業の内容は。
答 坂井市、あわら市、永平寺町で取り組む。本町は大本山永平寺、吉峰寺を活用した体験コンテンツの予定。

地域少子化対策推進事業
180万円

29歳以下の新婚夫婦への支援制度

問 30代も含めてはどうか。
答 県事業を受け29歳以下となっているが、国の事業として39歳以下もあり、上限30万円となっている。

学校再編整備事業
118万円

志比小、北小学校統合にむけた 体操服やスクールバスの試験運行

問 統合される地域のほか、中学生も含めて全域での事業展開はできないか。
答 中学生はコミュニティバスにて対応している。



償還金

問 大きな償還額になったのはなぜか。
答 介護保険の給付費が伸びなかったのは新型コロナの影響や介護予防に取り組んでいたことなどが考えられる。

介護保険特別会計
8,344万円

9月定例会

問 答

そこが聞きたい!

一般質問という名の政策提案

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
 一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

森山 充 9P	酒井 圭治 10P	朝井征一郎 10P	楠 圭介 10P
長岡千恵子 11P	清水 憲一 11P	川崎 直文 11P	松川 正樹 12P
齋藤 則男 12P	清水 紀人 12P	上田 誠 13P	金元 直栄 13P
滝波登喜男 13P			

一般質問議事録はこちらから

問 えい坊チャンネル運営上の課題は 答 スキルを持った人材の確保



問 町における情報発信の現状と今後の取組および方向性は。

答 総合政策課長 広報紙、ホームページのほか、フェイスブック、LINEといったSNSの活用および新聞等のメディアを紹介した情報発信を行っている。今後LINEセグメント配信やYouTubeによる動画配信などについて、新たな手法を検討している。

問 商工観光課長 観光情報発信としては今後、大本山永平寺と他のコンテンツをしっかりと紐づけて発信していきたい。

答 えい坊チャンネル運営の問題点とその解決方法および今後の方向性は、総合政策課長 放送内容の充実を図るうえで、撮影や編集の出来る専門人材の増員が必要であり、スキルを持った人材の確保が課題と言える。今後は視聴者増に向けた、YouTubeによる動画配信の強化を進めたい。



議案第46号 令和5年度一般会計補正予算について

反対討論
 長岡千恵子
 補正予算は住民の生活に必要な予算である。来春の統合に向けたスクールバスの試運転は児童の安全を確保するうえで必要であることは理解するが、当該地区の一集落から、統合について再考の請願が提出され全面解決に至っていないことから賛否の判断が難しいので退席する。

賛成討論
 川崎 直文
 物価高騰対策で事業者への経営環境改善事業補助金等3,370万円が計上された。幼稚園、幼稚園リフレッシュ事業で2つの園の0歳児保育の実施に改修費196万円、学校再編整備事業で小学校の統合に向け、スクールバスの試験運転等の118万2千円が計上された。これらの事業は適切で早期に実施すべきであり補正予算に賛成。

反対討論
 上田 誠
 7月13日の大雨による復旧費や物価高等支援。人口減や少子化対策と若い世代への支援、防災対策等、住民生活に直結する予算に反対するものでない。栃原区より提出されている志比北小の統廃合の再考の請願を重く受け止め、同地区の今後を考えると、今一度立ち止まって考慮が必要。よってスクールバス施行予算は認められないため反対の立場を取る。

反対討論
 金元 直栄
 町民に必要な予算が多くあることは認める。しかし、今回初めて志比北小学校の廃校に関する予算が示されたが、町長は3月、6月、今回の9月定例会の所信表明では、学校の統廃合では一言も語られることはなかった。一方、住民からは請願という形で、明確に統廃合を見せとの宣言が議会に示された。そんな中、今の学校をなくす方向へ強引に進めることにつながる今補正予算には反対する。

請願第3号 志比北小学校統廃合問題再考のお願い

反対討論
 清水 紀人
 学校のありかた検討委員会の設置からこの請願書が出されるまで、かなりの年月が経っている。理事者側も丁寧に柔軟に対応をしてきている。議会は議会と語ろう会で、北地区の皆様の見解を確認し、志比北小学校の学校再編を進めることを、採択しているので、この請願書の「志比北小学校の統廃合問題再考のお願いについて」賛成することは出来ない判断した。また、志比北地区振興連絡協議会、北地区長会の意見を書面で頂き、再編を進めていくという意思を固めている。よって、これまでの意見や状況を考え反対する。

形だけの説明に終わっている。そんな中、一つの区から再考をとの声が請願として示された。これを見ても住民に対して十分な説明と合意の取れていないことがわかる。ここで議会までもがこの請願を無視することは、これは地域の今後へのあきらめを強いているもので、住民の声だからこそ、議会は賛成すべきだ。

賛成討論
 長岡千恵子
 請願の鏡は「統合の再考」であるが、本文に3件の要望がある。3件のうち2件について町側は9月定例会において予算化をして事業化を進めようとしていることから、本件について採択することが妥当な判断と考える。

賛成討論
 上田 誠
 小学校存続に向け、住民自らの3つの要望の提案は、児童数減少対策、子育て環境整備、同地区の人口減対策を示し、子や孫に住みやすい地域を残したり、継承したいという強い思いがある。行政も3つの要望のうち2つは取り組む回答をしている。不採択は住民の思いを全否定となる。採択もしくは一部採択とし、住民の思いに応えるべきと考え賛成する。

反対討論
 楠 圭介
 6月の定例会にて継続審査としてから志比北地区の役員の方々の御意見を再度確認し、統廃合に関して概ねご理解頂いていることが分かった。請願の内容の全てを否定するわけではないが、タイトルにある「再考」の2文字は、前に進もうとしている住民にとって足枷になるとの考えで反対する。

賛成討論
 齋藤 則男
 提案された請願について、採択すべきものとして発言する。この請願は志比北小学校の再編について、改善点や地域の人たちの要望・不安の声について、また将来の北地区の地域振興について、町には要望書、議会には請願として提出されたもの。議員としては、地域住民の声として受け止め、地域住民の代弁者として全員一致の元で採択するのが本来の姿であると思う。

賛成討論
 金元 直栄
 今回、栃原区から提出された「統廃合の再考を」との請願には賛成だ。理由は、今の統廃合の進め方は、保護者の同意を先に取り付け、地域住民へは

そして、行政に対し地域の住民の声を反映した再編を進めるよう求めていくべき姿が、議員としての責務であると思う。



問 包装紙を使って観光PRを 答 関係団体と相談して本町を広く発信

長岡 千恵子議員



平成大野屋の包装紙

問 大野の平成大野屋の包装紙は、大野市街地の絵地図が印刷されている。これを参考に、SHOJINの商品は贈答やお土産に利用することが多いので、その包装紙で、永平寺町の観光PRができるか。県外に持っていったり、差し上げたりすれば、包装紙が永平寺町の観光PRをするようになるので、提案したいが如何か。

商工観光課長 永平寺町ブランド戦略推進委員会やSHOJIN協議会と相談して前向きに検討したい。SHOJIN以外の特産品にも使っていたら、永平寺町観点から商工会とも相談して、永平寺町が広く発信できる取り組みを検討する。

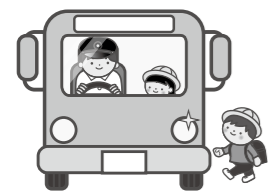
問 包装紙は3から4種類の大きさが必要。大きさによって絵地図を変える工夫も必要では。

商工観光課長 いろいろと検討する。

◆その他の質問…医療用ウィッグと補整下着の補助金は。

問 個別避難計画、進捗状況と課題は 答 着実に進んでいる

清水 憲一議員



問 現在進めている個別避難計画の作成、その最新の状況は。未完成地区における課題点は何か。

防災安全課長 8月末現在で62集落、約70%が取り組み、208名の計画書が作成された。重要性は理解しているが、必要性を感じていない。高齢化集落で避難支援者の確保が困難などの課題がある。

町長 町が作るからではなく、その地域の中で守ってもらう安心感、地域の中で自分たちの安心・安全をどう守るかがこの計画作成の大事なところである。

問 スクールバスの試行について

来春の志比小、志比北小の統合時に、スクールバスの路線案に高橋交差点があるが大丈夫か。

学校教育課長 今後、バスの試験運行において運行計画や、安全対策を検討していく。

問 谷口地区内にスクールバスの待機場を設ければ児童、引率者の負荷も軽減されるか。

町長 試験運行にて検証する。準備委員の皆さんのご意見を伺いながら進めていく。

◆その他の質問…小中学校における熱中症対策。カーボンニュートラル事業について。

問 地球温暖化対策実行計画の推進は 答 再生可能エネルギーの推進等に取り組む

川崎 直文議員



第2次 永平寺町環境基本計画 -改定版-

令和5年3月に改定の第2次永平寺町環境基本計画に「地球温暖化対策実行計画」が追加された

問 第2次永平寺町環境基本計画の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に、脱炭素社会への転換に向けて緩和策と適応策の推進がある。緩和策の取り組みは。

総合政策課長 再生可能エネルギーの推進として公用車のEVカーへの入替え、町の施設で照明のLED化を進めている。

移動に係る対策の推進は、公共交通の利用を促進する。

住宅・ビル等の省エネルギー対応は、町内の事業者、企業向けにLED照明、高効率空調、高性能ボイラーへの更新等に補助を行う。

農林課長 二酸化炭素吸収源対策の推進として、森林による二酸化炭素吸収量の維持、増加に向けた森林整備保全事業を行っている。

問 適応策の「防災まちづくりの推進」は。

防災安全課長 自主防災組織への活動費の補助、資機材購入費の補助を行っている。各集落等での防災講座、小中学校での防災教育を実施している。

◆その他の質問…「町への新しい人の流れをつくる」の取り組みは



問 地域振興と社会教育は 答 人材育成も行い、地域の活性化を図る

酒井 圭治議員

問 社会教育の要となる地域公民館の活動状況は。

生涯学習課長 公民館では多くの皆様に参加していただける企画を実施している。今後も公民館企画講座や継続的な自主サークル活動の発足を促し、より多くの皆様が活動できるきっかけを作っていく。

問 専門分野での研修など活動の基本となる人材育成は。

生涯学習課長 毎年、関係職員には専門分野での研修の受講案内をしており、今後も職員のそれぞれの日程の中、受講を勧めていく。

町長 地域振興での公民館の役割も踏まえ、他関係団体との連携も模索し、今後もしっかりと進める。

教育長 町全体の活性化、社会教育においても前向きに進めていきたい。

問 地域振興から地域資源としての浄法寺の調査は。

生涯学習課長 平成23年に地元有識者により現地調査や地籍台帳調査が行われ「浄法寺を探る」という報告書がまとめられている。今後は文化財保護委員会でも意見を伺っていきたい。



◆その他の質問…永平寺町大燈籠ながしについて。

問 人口、空き家減少対策戦略 答 新規雇用、企業誘致補助の認定申請

朝井 征一郎議員

問 人口減少社会を迎える中、総合振興計画に基づき、子育てや教育、福祉など住み良い町づくりに向けた政策を進めているが、町内に転入する人より、町外に転出する人が多く感じられる。子育ての町、自然豊かな町に見えるが、生活してみないと若者や女性に魅力のある企業がないが、町ではどのような企業誘致を考えているのか。

えい住支援課長 企業誘致については、町内者の新規雇用を要件とした企業誘致補助の認定申請があり、企業誘致が女性や若者の雇用が広がっていると考えている。魅力ある企業を誘致するためのハードルとして、土地利用規制の緩和を目標し、地域未来投資促進法に基づく重点促進区域の拡大を考えている。

町長 企業誘致については、交流人口の大きなファクターになるので進めていく。引き続き積極的に進めていく。

問 町には子どもたちが親子で遊べる場所がない。全天候型の遊び場の整備はどうか。

子育て支援課長 全天候型の遊び場の整備については、令和8年度までに1億円の補助を受けられる県の事業を活用していきたい。候補地については、町が管理している公園や既存の公共施設の活用などを考えている。

問 新しさを演出する人材への投資は 答 受け入れてもらえるかがポイント

楠 圭介議員



新しい風が期待される地域おこし協力隊

問 複数の有名人の著書に「現状維持は衰退」という旨の言葉がある。地域振興や地域活動において、開催することを目的とし、現状維持を目標としてはいけないか。テレビやYouTubeなどは視聴数を稼ぐため常に新しさを追求し、新しさを演出するプロデューサー・仕掛け人の存在がある。町の活気を維持するために新しさを演出する人材への投資が必要であると考えるか。

総合政策課長 これまでも多くの専門家や有識者にアドバイスをいただきながら事業を進めてきた。新規事業の創出、既存事業の磨き直しについては、目的・課題をしっかりと把握したうえで必要な人材の活用を努めたい。

町長 どんなに優秀な専門家や有識者にもお願いしても、町民の皆様が外部の声を受け付けなければ意味がない。そこがポイントであると思っている。町の歴史や文化を把握し、どのように町を変えていくか。情報収集を怠らず、町民や議会の声をしっかりと聞いて一緒に考えていきたい。

問 このまま進めて良いのか志比北小廃校を **答** 議会の決定を真摯に受け止め進める

上田 誠議員

問 学校は住民と地区全体の資産であり、教育のみならず地域振興の核となる存在。①この志比北小の統廃合を保護者に対して1ヵ月程で可否を求める進め方。②27名の住民説明会で住民合意とする進め方。③1地区より再考の要望書がありながら正式に振興会・区長会に説明・合意を得ない進め方で良いのか。

町長 統廃合を前提でなく、もしするのなら令和7年4月を提案したが、令和6年4月の回答を得、議会の決定を真摯に受け止めて進めている。

問 地域の再生・振興を学校の再編も含めて住民と協議する時間の猶予も必要。先に再編を決めてから地域の再生・振興策を協議するのは順序が違う。

町長 おおむね統合については理解を得、同地区の振興策の協議の場の設定を進めている。

今だから「平和と命の尊厳」を

問 平和を通じて命の尊厳・人権の平和教育を。

生涯学習課長 平和学習は必要課題と認識して取り組む。

ひきこもり支援対策を

問 社会問題ひきこもり対策を。

福祉保健課長 県と連携し継続・専門的に支援対策を図る。

問 ひきこもり全国実態調査へ本町の対応は **答** 現状で十分対応できている

金元 直栄議員

問 いわゆる80・50問題。大人のひきこもり、全国の実態調査に合わせ、本町も積極的な実態調査を行い、町の施策や対応を示してはどうか。

福祉保健課長 実態調査を行うことで積極的に取り組めるかという点、決してそうではないと認識している。現状では現在あるサービスにつなぐことで、十分対応できている。

保育中の事故と本町の取り組みは

問 「保育事故最多、死亡5件、人手不足背景か」との報道で、2016年以降保育中の死亡事故は51人となっている。2015年に保育の基準人数の方向が示されているが、本町は守っているのか。

子育て支援課長 本町で重大事故につながった事例はない。保育士の配置は、国の基準が変更になれば対応する。

学校の統廃合に関して

問 勝山市は10年ほど前に、中学校の1校化を示したが、議会では16名中6名が反対したことから、これでは1校化へ進めないと見送った経過がある。本町の統廃合は強引すぎる。

教育長 志比北小学校の統廃合は、保護者の同意など、手順を踏んで進めている。

問 こどもまんなか社会の実現は **答** しっかり意見を吸収している

滝波 登喜男議員

問 国は「こども家庭庁」を設置し、こどもに関する政策を我が国社会の真ん中に捉える「こどもまんなか社会」の実現を目指している。4月に施行された「こども基本法」では全ての子どもは自己に直接関係する事項に関して、意見を表明する機会が確保されること。その意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されることとなっている。地方自治体は、子ども施策の策定・実施・評価にあたり、子どもや子育て当事者の意見を聴取し、反映させるための必要措置を講ずることが義務化された。多くの自治体で子ども議会などを取り組み、意見聴取と施策への反映を行っている。本町の考えは。

学校教育課長 子ども議会は過去2回開催したが、子どもや先生の負担が非常に大きいことから、すまいるミーティングに変更し、効果を上げている。こちらの方がベターと考えている。

問 志比北小学校統廃合は、子どもにとって最も関わりある施策。「こども基本法」の理念に基づき、当事者である児童生徒の意見を聞く義務が町にある。

教育長 子ども達と一番深い関わりのある保護者の意見を最優先にしている。

町長 身近な保護者や先生が、子どもの本音を一番吸収している。今のところ児童たちの交流など、うまくいっていること報告を受けている。子ども達の意見をしっかりと吸収している。

問 栃原区の要望に町は真摯に向き合え **答** 保護者からすでに統廃合の賛同を得ている

松川 正樹議員

問 栃原区から町長に出てきた2回目の意見書は「志比北小学校統廃合問題の栃原区の回答に対する要望」以前から栃原区は同小学校の統廃合の再検討を求めている。極めて妥当な要望。「旧永平寺地区の同年齢の全児童を志比小、志比南小、志比北小の3地区に分割できるように町が新しい校区を提案して、極端な人数の学校間の差ができるだけなくなるように調整をお願いしたい」というものだが、それに対する町長回答は「町としては新しい校区に設定することは非常に困難で、その理由は同年齢の児童数を各校区で均一に振り分けることが困難だから」としている。それに対し、栃原区は反論している。3校区を均等に振り分ける必要もないし、毎年の変更も不必要としている。さらに複式学級でも児童の学校生活をサポートできるようにと踏み込んだ発言をしている。私もこれらに賛同できる。さらに今後も地区との話し合いを継続していただきたい。

総務課長 志比小、志比南小、志比北小3校区を均等に振り分けることになる。地区の校区の変更の目的は、たとえ人数であっても1人学級の状態だけは回避すること。保護者から令和6年4月1日から志比小学校に統合することに賛同との同意をいただいている。

◆その他の質問…学校再編に期待感が持てなくなったからの突破を。アンケート調査は誘導的だった。新幹線開業が間近だ。上志比の過疎脱却に新発想を。

問 災害の備えについて **答** 住民の皆さんの安心・安全を

齋藤 則男議員

問 私たちは日常生活において天災、人災等常に災害に悩まされていることが多い。水害は宿命とも言え、毎年脅かされている。このような災害に対し完璧な対策があれば人々の幸せは大きいものがある。しかし、完璧な対策方法はない。創意工夫、努力によって避けることは不可能。特に水害や火災等の場合は日常の対策が思わぬ大きな効果を生み出した事例がある。「災害は忘れた頃にやってくる」必ず来るものと思ひ、恒久性のある対策をできることから取り組み、楽しんで始めてみるのが大切。災害が発生しからの対応にも増して、未然に防ぐことができるものや、被害の拡大を防止するための対策をあらかじめ行うとよくと非常に大切なこと。

防災安全課長 町では海で発生する災害以外、全ての災害が想定されると考えている。拠点となる防災施設の耐震化は全て整備している。加えて、非常食の備蓄や資機材も計画的に購入している。また、近年非常用電源確保が重要ということで、発電機や蓄電池を整備している。が、昨年度よりEV車等を利用した充電設備の整備も始めている。また、あらゆる場面を想定した災害対策本部の運営訓練、職員の初動訓練等については、参集訓練を年に2回、メールのテストや安否確認等を行っている。そのほか避難所の運営の研修会を実施している。

問 7月13日の災害から自主防災について **答** 地区の準備と計画を

清水 紀人議員

問 今回の災害で洪水ハザードマップへの追加点や変更点はない。

防災安全課長 被災箇所は、記載されている浸水区域や土砂災害区域の中での越水や冠水及び土砂崩れや土砂等の流出であり、新たな箇所での追加事項や修正点はない。

問 災害現場では急な個別避難で需要が重なったとき、初動として高齢者、障がい者、妊婦、重傷者の移動や避難させる車イスや担架などの必要性が増えるので、補助率を高く出来ないか。

防災安全課長 個別避難計画を基に実施する避難で使用する救助救護用資機材の購入に当たっては、個別避難計画作成済みの組織に限定するなどして補助率の増を検討する。

パートナーシップ宣誓について

問 パートナーシップ宣誓について、町サービスや社会的配慮を受けやすくするとのあるが。

総務課長 宣誓をした一人が自分らしく生き生きと生活されることを応援していくため、行政サービスの検討をしていく。職員の性に対する多様性の研修も予定し、県と合わせての導入を検討。



◆その他の質問…今回も町の配布物がラインで届きました。

石川県加賀市議会視察研修

議行財政改革
特別委員会

開かれた議会を目指して

加賀市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革と調査2022において、総合ランキング全国4位となった先進地で、議会改革の取り組みについて研修した。

■開かれた議会

フェイスブックやユーチューブ・インスタグラムなど様々な方法で議会情報を行っている。

■市民が参加する議会へ

女性議会や小学生・中学生・高校生といった子ども議会を毎年実施している。また、小・中学校に出向き、子ども達と意見交換する議会お出かけ教室の開催。議会モニター制度の実施など、市民が直接参加することで議会を理解していただく。

■政策提案する議会

議会提案による条例施行を毎年研究し、制定している。また、議会モニター制度や住民アンケート・政務活動費といった具体的課題についても詳しく説明を受けた。

議会の視点



町民に開かれた議会を目指し、モニター制度など実施していきたい。

栃原地区の請願の結果について

学再校編
特別委員会

志比北小学校統廃合問題再考のお願い

令和5年5月19日付けで提出された次の請願について、令和5年9月13日の本会議において、慎重に審議した結果、**不採択**と決定した。

議会の視点



再編がより良いものになるよう、準備会の内容をしっかり把握し、当事者となる保護者や子ども達に寄り添っていききたい。



町の産業の未来を創生

総務産建
常任委員会

地域に根ざした個性と魅力ある事業者の育成

現在、コロナ禍以後の社会情勢の変化や消費動向の大きな変化を受け、早急に経済関係者の連携から持続可能な町の産業育成が求められている。そこで、今回は町商工会との意見交換会を行った。

商工会でも物価高騰のアンケート分析から、事業者は引続きの金融支援や高騰する電力料金から電力会社の経営改善も求めていることが分かった。今後、商工会では創業塾やカーボンマネージメントへの取り組みも含め町の経済活性を進める方向。



議会の視点



町商工会は経営相談や税務、金融など、中小企業・小規模事業者が抱える様々な課題に応じて、きめ細やかなサポートを行いながら、事業者支援の中心的役割を担っています。今後も「稼ぐ力」を高め、地域経済の持続的な発展に結びつくよう活動されることを期待する。

認定こども園みどり葉こども園について

教民育生
常任委員会

騒音調査と近隣住民への聞き取り調査を実施

①みどり葉こども園への町民と称する人からのハガキへの対応を理事者から報告を受けた。

主な点は4月にフェンスが切られていたこと。ハガキは毎月園に届いていることから、6月に町は、近隣地域で騒音調査をしたが、問題点は見つからなかった。また、区にも以前から相談もし、ハガキの内容から警察や弁護士にも相談していること等、これまでの対応も含め報告された。

委員からは、大きな事件になる前の早い対応が必要だ等の意見が出された。

②その他

- ・給食調理員の確保では、会計年度職員の募集だけでなく、正規職員の募集こそ必要との声
- ・幼稚園や小学校での英語教育について
- ・マイナンバーカードの混乱、本町では
- ・現在のコロナの状況はどうなっているのか等の質問が出された。

議会の視点



苦情の投書は匿名住所・匿名であるため、庁内に町民向けの相談窓口を開設してはどうか。

永平寺町のまちづくりを応援してください!

ふるさと納税

ふるさと納税とは、生まれ育った故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度です。“永平寺町が大好き”“永平寺町の力になりたい”という想いを形にできます。永平寺町にふるさと納税をされた場合、2千円を超える部分について、一定限度額まで所得税と住民税をあわせて控除されます。

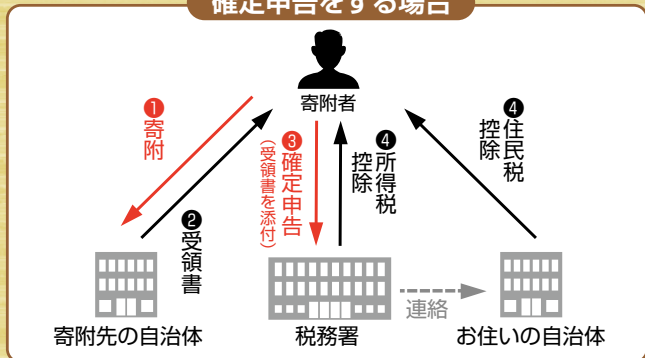
※限度額は収入や家族構成によって異なりますので、お住いの自治体の住民税担当課へご確認ください。

寄附実績 (年度ごと)

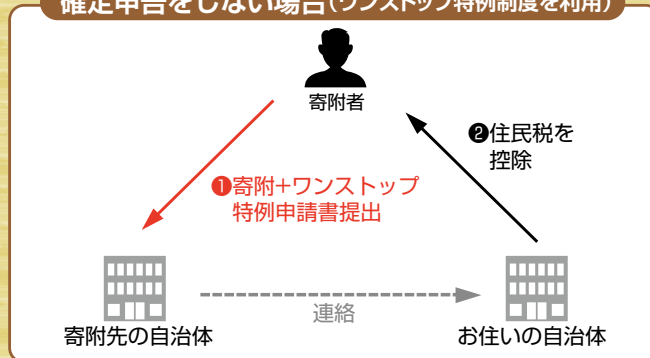
寄附年度	寄附件数	寄付金額
令和2年度	680件	15,783,000円
令和3年度	1,575件	71,294,000円
令和4年度	3,429件	96,740,800円

税金控除の手続き方法

確定申告をする場合



確定申告をしない場合(ワンストップ特例制度を利用)



寄付者の声



私の生まれ故郷であるふるさとを応援しています。これからの人材育成に、少ないですがお役にたて下さい。



大学4年間、福井県でお世話になりました～第2の故郷に納税します！



子供のころ、旅行で永平寺へ参りました。凜とした清涼感のあるお寺の雰囲気と、門前町で食べた永平寺味噌の甘い味を今でもよく覚えています。いつまでも、日本が誇る文化として大切に守り継がれていくことを願っています。

担当者からの声



総務課 鈴木さん

永平寺町を応援していただきありがとうございます。ありがとうございます。

次回定例会は

11月27日(月)
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもごさいます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第72号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会 編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

議会広報特別委員会

委員長 川崎 直文 副委員長 長岡 千恵子
 委員 酒井 圭治 森山 充 滝波 登喜男
 松川 正樹 楠 圭介

発行責任者

議長 中村 勲太郎



関西からのアユ釣り客は九頭竜川までよく来るそうです。新幹線開業により神通川との棲み分けがどうなるか?「竜神合戦」の狼煙が上がります。負けられない戦いです。(森山 記)



議会活動レポートHPです。議会のいろいろな活動が見られます。